事務事業マネジメントシート

(兼)予算編成資料•実施計画資料	作成日 H	27 年	3 目	25 日作成

					(////) 7								• •		
			第2期白根櫛形線整備事業(補助)				所属部局						2011- 71		
手	務事業名			214 = 224 E- 124	IPIONO NOT-TITLE OF A	.14 (1114-)/4/		所属課室	迫	路整備課		課長名		新津 元博	
		□ 実施計画事業						所属担当	道路	道路河川担当 <mark>担当者</mark>			名 中込隆行		
1	本政策	基	III	うろおいし利	便性のある都で	たべくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
4	4 以来	基 本		」 うるおいと利便性のある都市づくり)' J1 14' L1	01	一般	08	02	02	020	19	
	政 策	計	11	道路網の整	借				□ 国(り制度による	る義務	的事業	□ 施	設等維持管	理事業
	以火	画体		戸町州ツル	VHI			事業区分	□ 県の制度による義務的事業 □ 補助金交付事業						業
	施策		18 生活関連道路の整備				争未匹力	□ 市の制度による義務的事業 🔽 その他の事業							
他來		系		生活				□ 義和	务化されてい	いる協	議会等の	負担金	Ž		
₫	業期間		単年度 <i>σ</i>)み 🔽 単年月	度繰返 (開始年	度年月	度)	法令根拠	送出	· 法·道路構	****				
7	未期间	□ 期間限定複数年度 (平成23年度 ~ 平成 27 年度)						本节恢拠	坦斯	话" 坦珀州	中山中				
事事	業の内容・・・	期間	限定複数	年度事業は次	年度以降3年間の	の計画内容も記載		事業費の主	な内訳	(26年)	度 涉	4算見込)		
務 1.	事業内容							項日(細)	節)	金額(千円	9)	項目(細節)	金額	(千円)
	道路整備に関するプログラムに位置付けられ、市の骨格を形成する幹線道路の整備(L		備(L	賃金 需用費		1,6	ロ88	二事請負 前償、補填》	費		34,376				
	=300m w=11.0m)を補助事業の社会資本整備総合交付金により行う事業 2.事業費の内容						需用費		1	.53 補	前償、補填。	及び賠値	賞金	2,971	
· · ·							役務費			17					
1996		才産取得、支障物権補償、道路改良工事						委託料 使用料及び		4	53				
要								使用料及び	賃借料	8	374	ŧ	ļ-		40,524

女		使用和	斗及び賃借料	874	計		40,52
	現状把握(DO) 事務事業の目的と指標	_					
	活動 年度活動内容 道路改良工事L=300m、文化財本調査 防災無線移設工事 1式	→	5 活動指標(事)ア 事業用用地取るイ 工事延長の書	<mark>務事業の活動量</mark> 名称 ^{反得割合}	を表す指標)数字は記 単(<u>%</u>	<mark>入しない</mark> 立
	伊度活動予定 道路舗装工事L=300m、文化財調査(報告書作成) 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		ウ測量試験の報	執行割合 <mark>象の大きさを表す</mark>	「指標)数字	% % は記入しな) よい
計画	可道路利用者 改良区間(白根櫛形線)	⇒	ア 利用者数 イ 道路計画延り ウ 計画路線の起	名称 是		単位 人/ m	立 日
3	意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)		ウ 計画路線の起 ⑦ 成果指標(対象)	☑業地面積 <mark>象における意図の返</mark> 名称	産成度を表すす	m <mark>皆標)数字は</mark> 単化	
主要	要幹線へのアクセスが容易になり、目的地までの時間短縮及び地域活性化	⇒	ア 目的地までの移動時日 イ 事業に進捗率	間が短縮されたと回答し	た市民の割合	% %)
	上位目的(どのような結果に結び付けるのか) 8網整備を図る			<mark>票(結果の達成度</mark> 名称 ・安全に利用できると回答し)数字は記 単化 ○/	<mark>:入しない</mark> 立
坦耳	14世世 囲 4 区 公] ⇒	1	久工におり くらりと回答し	7/C1112(4) [1]	/0	

(2)	事	業費・指標の推利	多	単位	24年度 (決算·実績)	25年度 (決算·実績)	26年度 (決算見込·実績)	27年度 (予算·目標)	28年度 (計画·目標)	29年度 (計画·目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年		財 国庫支出金	金	千円	20,704	37,845	22,457	25,508			
間		源県支出金	Ž	千円							
 -	業	"地方債		千円	16,093	29,400	14,400	18,500			
	費	訳しその他	<u>.</u>	千円							
タ	~	一般財源	_	千円	847	1,565	3,667	2,731			
j,		事業費計(A	()	千円	37,644	68,810	40,524	46,739	0	0	0
"	人	正規職員従事人	、数	人	4	4	3	3			
コ	件	延べ業務時間	•	時間	500	500	500	300			
<u>۲</u>	費	人件費計(B))	千円	2,276	2,276	2,276	1,365	0	0	0
		(A)+(B)		千円	39,920	71,086	42,800	48,104	0	0	0
			ア	%	30.0	55.0	75.0	90.0			
	活動指標 イ			%		30.0	60.0	95.0			
			ウ	%	10.0	15.0	90.0	100.0			
			ア	人/日	300.0	300.0	300.0	300.0			
	対象指標 イ			m	360.0	360.0	360.0	360.0			
			ウ	m²	3,960.0	3,960.0	3,960.0	3,960.0			
		D	ア	%	58.5	58.2	52.9	58.0			
		成果指標	1	%	30.0	50.0	70.0	90.0			
			ウ	- /							
	F	位成果指標	ア	%	42.8	38.4	39.7	41.0			
	ー 上 八 八 1 1 1 7		1								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

1	この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市の骨格路線の補助幹線に位置づけられ、既存道路とのアクセス向上により消防署施設の再配置計画により白 根分遣所は意思に伴い地域住民の不安解消を図るべく企画された。
2	サッチスとなっている。	第1整備区間が平成23年度に供用開始を計るので、事業効果が目に見えることにより全線早期完成が望まれる。
3	事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議 会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	第1整備区間の完成後、早急に第2整備区間の着手が地域住民から望まれる。

(4) 改革改善の取り組み状況

(1) 数十级目的积为担心 (2)	
① 改革改善の取り組み実施は?	▼ 取り組みしている ⇒【内容↓】 □ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	事務事業の事業内容精査による、適正な事業表執行を図っている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	補償金額の精査

	事務事業名	第2	期白根櫛形絲	泉整備事業(補助)	所属部	建設部	所属課	道路整備	課
		による事	後評価(複数年度事業は途中評価) □ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映							
	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の記 の施策に結びつき、貢献して 意図が上位目的に結びつい ②公共関与の妥当性	いるか?	☑ 結びつい	ている →【理 格を成す道路整備	由↓】 iになるため、整	そ合性がある。			可性に反映	
的妥当性	この事務事業を税金を投入しわなければならないのか? 民間やNPO、市民協働に移		□ 妥当である インフラ整備の	る ⇒【理由↓】 カーつでもあり受益者が市民全体となる為、公共事業として行なうのが妥当である。						
評	は可能か? ③ 維持・継続の妥当性		事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働 ☑ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映							
	していくことは妥当か?目的や要性を見直す余地はあるか?	維持・継続 や事業の必	□ 適切である →【理由↓】 地域住民のうるおいと利便性の向上を目的に進めているので妥当である。							
	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で 業の目的に向けて現状よりも 上させることはできるか?でき は何が原因できなか?か	成果を向きない場合	✓ ある程度I✓ 向上余地詳細設計を行ので難しい。ま	う時点で、っより経済 た、補助事業である。	るため道路構造	⇒ 3 Rにより成果 き令等に合致	平価(Check2)・4年 平価(Check2)・4年 目標を達成するよう指 にしなくてはならない。	今後の方向性に	反映	ている
有 効	⑤ 類似事業との統廃合・連接	男の可能性	▶ 類似事務	事業かめる ⇒(類1	以する事務争ま	長の名称を記	: 人 ↓)			
性評	類似した目的を持つ事務事業 るか?類似事務事業があるは 事務事業との統合や連携をB できるか?	易合、その 図ることは	□ 統合・各路線の整備□ 類似事務事	連携ができる 連携ができない を進めているので、 事業がない	⇒【理由	い。		Check2)·4今征	後の方向性に	反映
	⑥ 休止・廃止した時の影響 止・廃止の可能性	響及び休	□ 影響なし☑ 影響あり	⇒【理由と影響の	D内容↓】		□ 休止・廃止ができ ▼ 休止・廃止できな		1	
	この事務事業を休止・廃止しま 響はあるか?また成果から考 止・廃止することはできるか?	えて、休	地元説明会を終え、既に用地買収・補償契約の話も進めて「市の主要施策事業に位置付けられている。 いるので、関係地権者は待っている状況であり、第1整備区 間との整合性もなくなってくる。							
	⑦ 事業費の削減余地		☑ 削減余地Ⅲ 削減余地		由·具体案↓ 由↓】] ⇒	3評価(Check2)	・4今後の方同性	に反映	
刻	成果を下げずに事業費(コス できないか?(仕様や工法の 住民の協力など)			階で行っている。						
評価	時間の削減や臨時職員対応 託による削減はできるか?)	による業務 や外部委	▽ 削減余地がある ⇒ 【理由・具体案 】 ⇒ 3評価(Check 2)・4 今後の方向性に反映 □ 削減余地がない ⇒ 【理由 ↓ 】							
平性評	⑨ 受益機会・受益者負担のが 地 事務事業の内容が一部の受 ていないか? 受益者負担を見 はないか?公平公正か?	✓ 公平·公司	[し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 「・公正である ⇒【理由↓】 S網の整備であり、受益者は市民全体となるため公平・公正である。							
	評価(Check2)担当課		よる評価結		ᄽᄯ <i>ᆠ</i> ᇴᇴᆇ	**	ナ田ナセリをいたべい		· の十つ州笠1-	-01.T
	1次評価者としての評価結 ① 目的妥当性 ☑ 適切		.余地あり	事業としては、繰起	或工事の道路改	女良と舗装工	<mark>詰果を振り返り気づい</mark> 事のみとなったので、			
	_	☑見直し		業完了に向け、着	実に進めること	• 0				
	③ 効率性 □ 適切	☑ 見直し	余地あり							
	④ 公平性 ☑ 適切	□ 見直し	余地あり							
	<mark>今後の方向性(事務事</mark> <mark>)今後の事務事業の方向</mark>			₽める)•••複数望	秋 可		(3) 改革・改善によ	る方向性	
	<u>/ </u>			<u>co/o/ </u>		平性改善(公		_ <u> </u>	からいゴエ	
	休止(目的妥当性①、②、③0]上(有効性④の結			「価項目で適切)	_ %	コスト水準	
	必要性検討(目的妥当性①、)改革改善案について	果) 🗹 コスト賞	削減(効率性⑦、⑧	の結果)□ 終	了		10]	
<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>							成果水排 口		
								ト 一 ※ 廃止・休』	_ 上の場合は記入	
(4)	改革改善を実現する上で	解決すべき	き課題とその角	解決策			(5)事務事業優先度	評価結果 平成	t26年度
							<mark></mark>	艾果優先度評価 統	結果	5

コスト削減優先度評価結果